

クイックリファレンス

▶ KM-3650w

ご使用前に必ずこのクイックリファレンスをお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

ご注意

KM-3650w には、Type A と Type B があります。

Type A：ロール給紙ユニットが 2 段装着されています。

Type B：ロール給紙ユニットが 1 段装着されています。

目次

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	i
法律上のご注意	ii
国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	iii
本書中の注意表示について	iv
注意ラベルについて	v
機械を設置する時のご注意	vi
取り扱い上のご注意	vii
コピー禁止事項	ix
スキャナー禁止事項	x
電源を入れる	1
電源を切る	2
コピーする	3
スキャンする	5
印刷する	10
製品の保守サービスについて	12
契約書について	12
補修用性能部品について	12
廃棄について	12

本書は KM-3650w の基本的な操作を説明しています。

詳細な操作については、CD-ROM の **Operation Manual** の **JP** フォルダに収録されている関連マニュアルを参照してください。

使用説明書 基本編 (ファイル名: GeneralOperation_J. pdf)

用紙の補給方法、トナーの補給方法、紙づまりの処理など、本機の一般的な操作について説明しています。

コピー/スキャン使用説明書 (ファイル名: CopyScanOperation_J. pdf)

コピー機能、スキャン機能、操作パネルからの各種設定などについて説明しています。

プリントサーバ使用説明書 (ファイル名: PrintServer_J. pdf)

ジョブ管理、画像ファイルの印刷、ネットワークの設定、スキャンファイルのダウンロードなど、プリントサーバのシステム全般について説明しています。

プリントクライアント KM 使用説明書 (ファイル名: PrintClientKM_J. pdf)

ファイル印刷アプリケーションであるプリントクライアント KM の操作について説明しています。

AutoCAD HDI ドライバ使用説明書 (ファイル名: ACAD_HDI_Driver_J. pdf)

AutoCAD からの印刷方法について説明しています。

プリンタドライバ使用説明書 (ファイル名: PrinterDriver_J. pdf)

Windows アプリケーションからの印刷方法について説明しています。

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

• 法律上のご注意	ii
• 国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム	iii
• 本書中の注意表示について	iv
• 注意ラベルについて	v
• 機械を設置するときのご注意	vi
• 取り扱い上のご注意	vii
• コピー禁止事項	ix
• スキャナー禁止事項	x

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは

国際エネルギースタープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタープログラムの基準により、複合機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「ウォームスリープモード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「節電モード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

ウォームスリープモード

ウォームスリープモードは、国際エネルギースタープログラムで使用されている「低電力モード」と同じ機能です。最後にご使用になってから15分を経過しますと自動的に「ウォームスリープモード」に移行します。なお「ウォームスリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくはコピー/スキャン使用説明書の40ページ、**ウォームスリープ設定**をご参照ください。

節電モード

節電モードは、国際エネルギースタープログラムで使用されている「スリープモード」と同じ機能です。最後にご使用になってから60分を経過しますと自動的に「節電モード」に移行します。なお「節電モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくはコピー/スキャン使用説明書の40ページ、**節電設定**をご参照ください。

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える影響の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

本書中の注意表示について

このクイックリファレンス及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、身体への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 「注意一般」

 「感電注意」

 「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

 「禁止一般」

 「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 「強制一般」

 「電源プラグをコンセントから抜け」

 「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。
紙づまり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

ラベル 1、2

この部分の内側は高温になっています。
火傷などのおそれがありますので、
触れないようにしてください。



この部分の内側には先端の尖った部品が
あります。けがのおそれがありますので、
触れないようにしてください。



機械を設置するときのご注意

設置環境について

注意

本製品を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



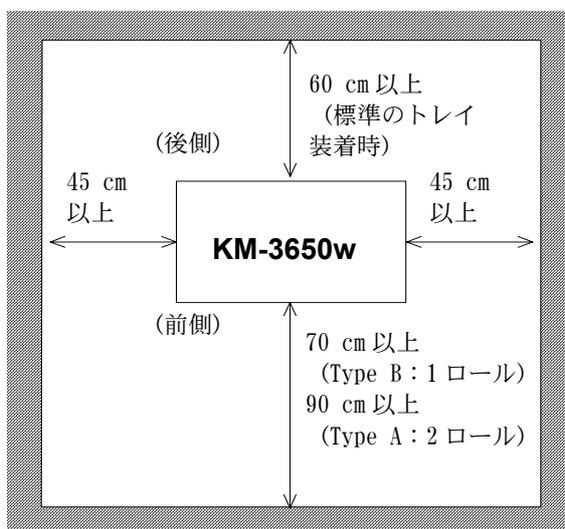
本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。



本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温10～32℃、湿度20～85%が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

本製品を蛍光灯の真下に設置しないでください。原稿サイズを誤検知するおそれがあります。

設置電源・アースについて

警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。アースは必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。



注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



(必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください)

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

コピー中には次のことをしないでください。

- カバーを開ける。
- メインスイッチを切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

本製品は、HDD（ハードディスク）を搭載しています。製品本体の電源を入れたままで製品を移動しないでください。電源を入れた状態で製品本体を移動すると衝撃・振動によりHDD（ハードディスク）が破損する可能性がありますので、移動する場合は、必ず製品本体の電源をOFF にしてください。

消耗品の取り扱いについて

注意

トナーカートリッジは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーカートリッジは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーカートリッジより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーカートリッジは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

使用後、不要となりましたトナーカートリッジは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーカートリッジは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください

本製品を長時間使わない場合は、用紙を給紙デッキまたは手差しトレイから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー禁止事項

本製品を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

スキャナー禁止事項

スキャナーで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者に無断で使用できません。

以下のものは、スキャナーで読み取るだけで、法律により罰せられます。

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣・貨幣・証券類、未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類。

注意を要するものには

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証、有価証券や定期券、通行券、回数券、食券などの切符類も勝手に読み取らないほうがよいと考えられます。

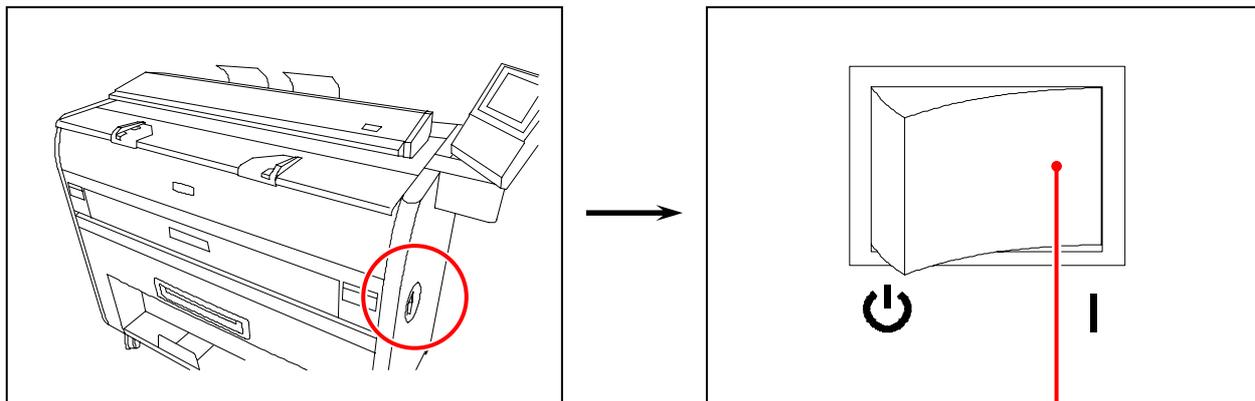
JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

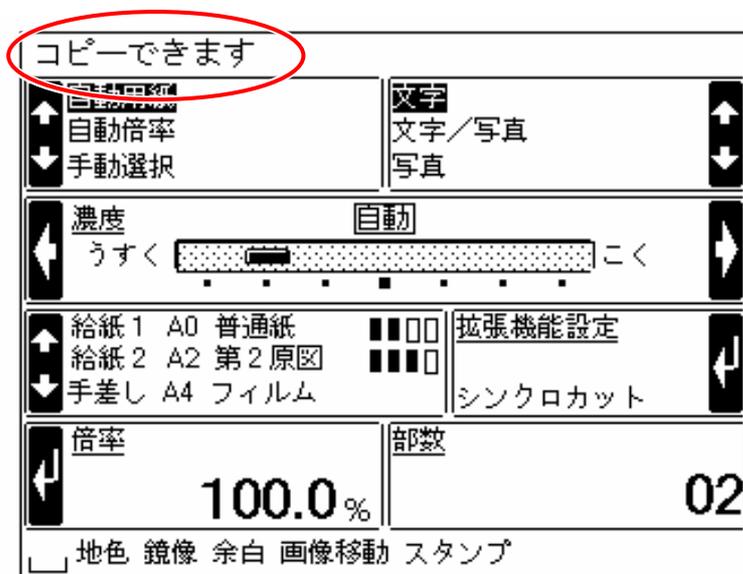
電源を入れる

1. 本体右側のメインスイッチをON (I) にしてください。



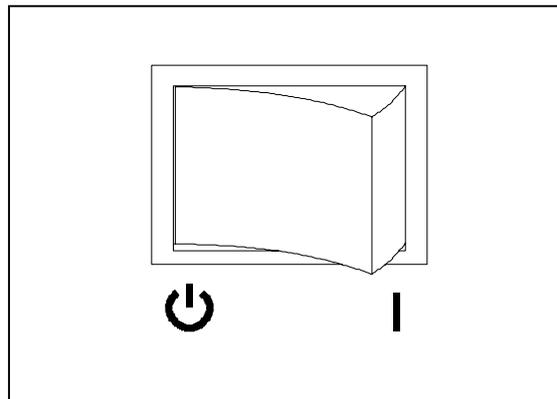
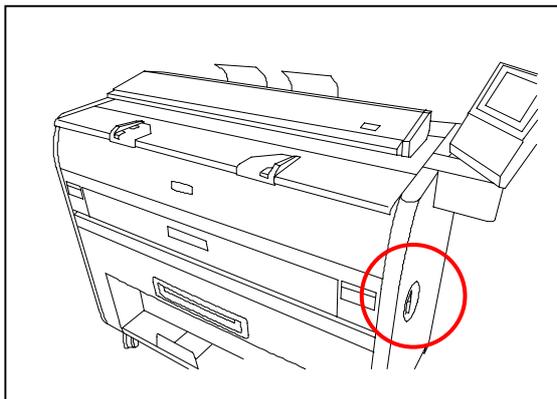
ここを押します。

2. ウォームアップが始まります。約5分お待ちください。
ウォームアップが完了すると、「コピーできます」が表示されます。



電源を切る

1. 本体右側のメインスイッチを OFF (⏻) にしてください。



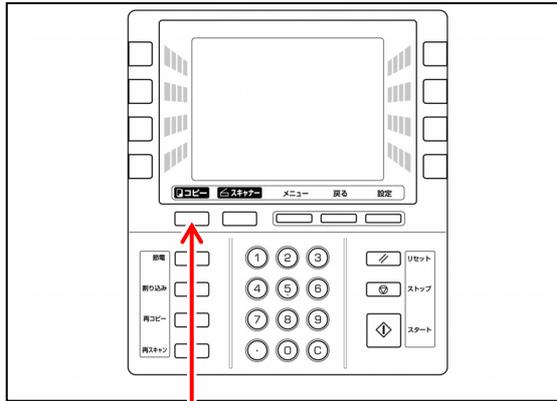
! 参考

メインスイッチを OFF (⏻) にしてから、本体内部のコントローラユニットが終了するまで約1分かかります。

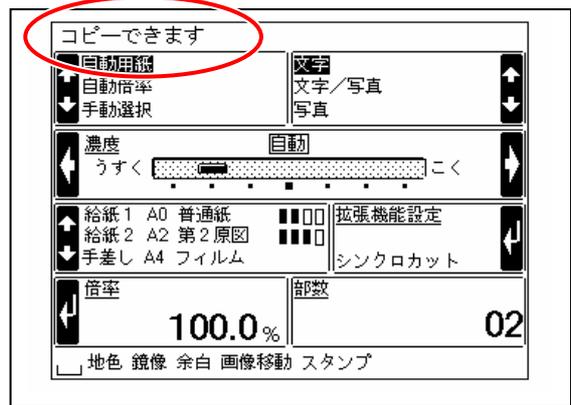
メインスイッチを OFF (⏻) にしてから1分間は、絶対に電源コードを抜かないでください。

コピーする

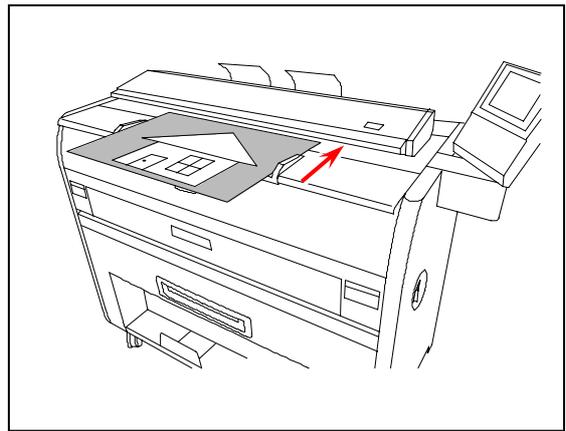
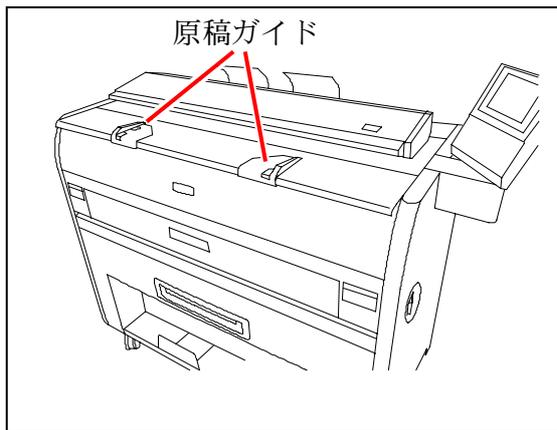
1. [コピー] キーを押すと、コピーモードの画面が表示されます。
操作パネルに「コピーできます」が表示されていることを確認してください。



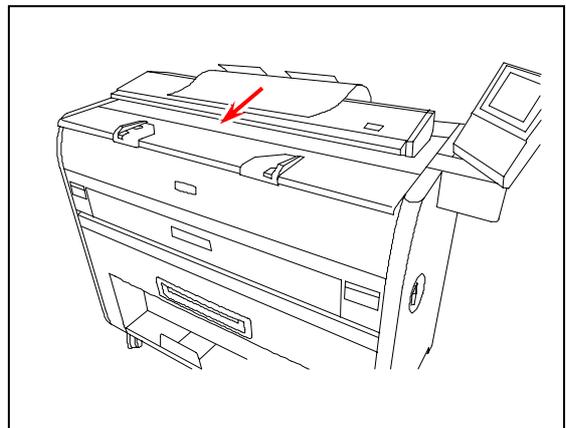
[コピー] キー



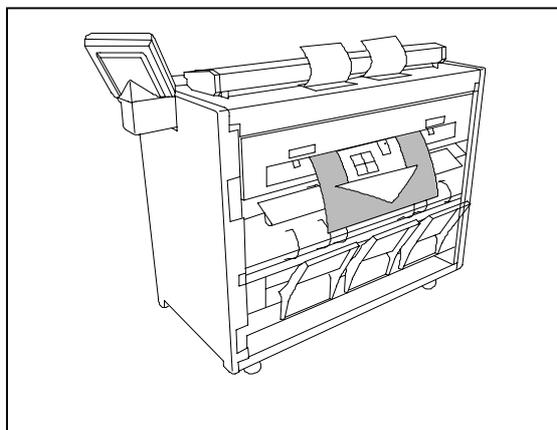
2. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせてください。
原稿をセットします。読み込む面を上にして、スキャナーユニットの下に挿入してください。
自動的に原稿の読み込みを開始します。(キーを押す必要はありません)



3. 読み込んだ原稿は後側から排出されます。
(排出された原稿は排出ガイドにより手前に誘導されます。)

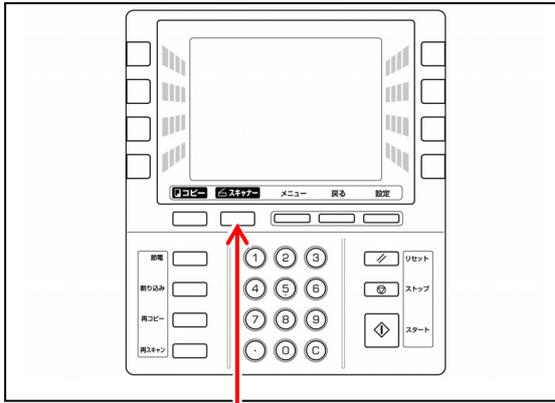


4. 原稿がすべて排出されると、コピーを開始します。
仕上がったコピーは本体後側から排出されます。

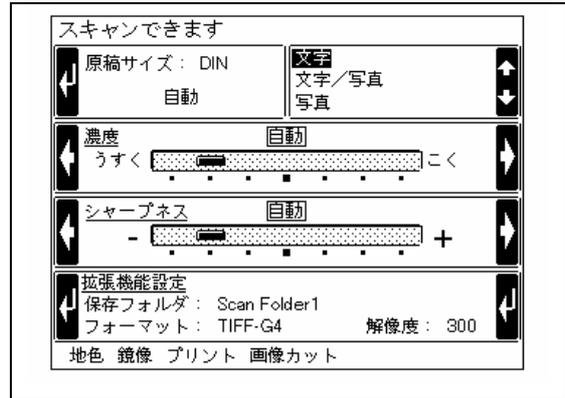


スキャンする

1. [スキャナー] キーを押すと、スキャンモードの画面が表示されます。
操作パネルに「スキャンできます」が表示されていることを確認してください。

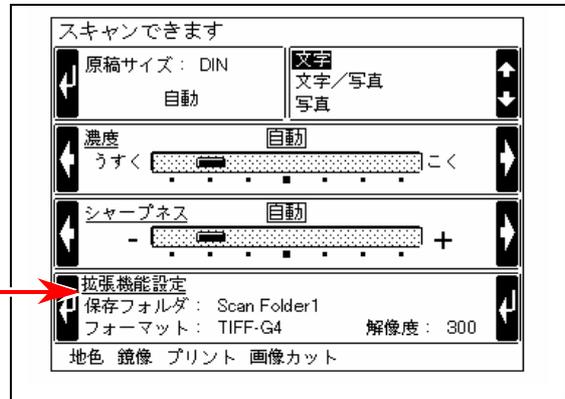


[スキャナー] キー



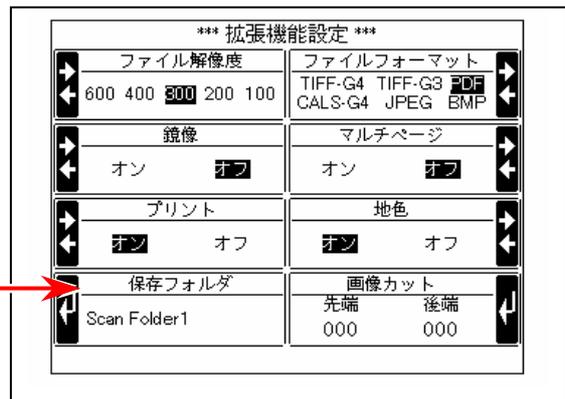
2. [L4] キーを押して、「拡張機能設定」を選択してください。

この項目を選択します。



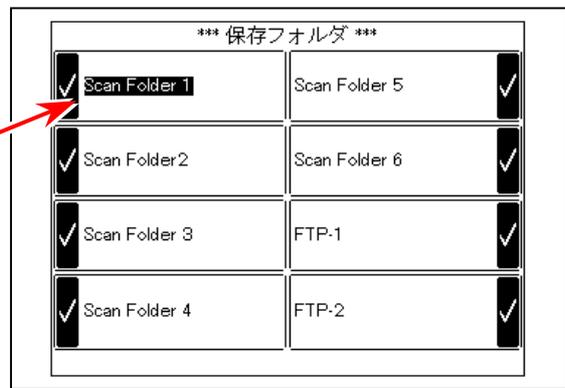
3. [L4] キーを押して、「保存フォルダ」を選択してください。

この項目を選択します。

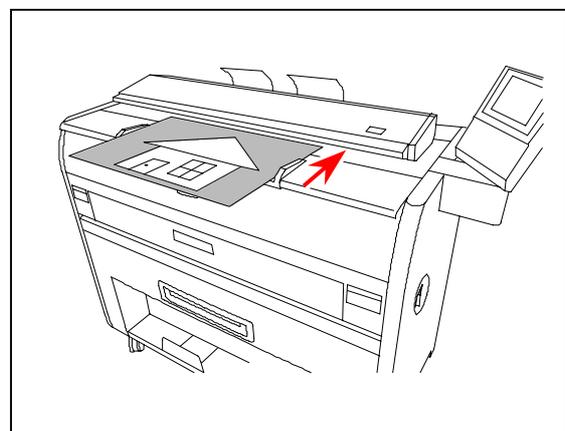
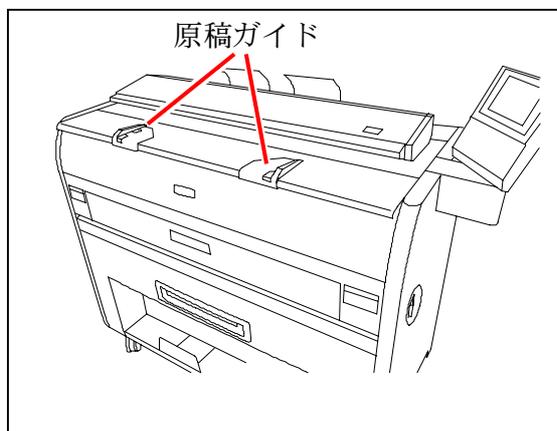


4. 画像データの保存先を選択して、**【設定】** キーを押してください。

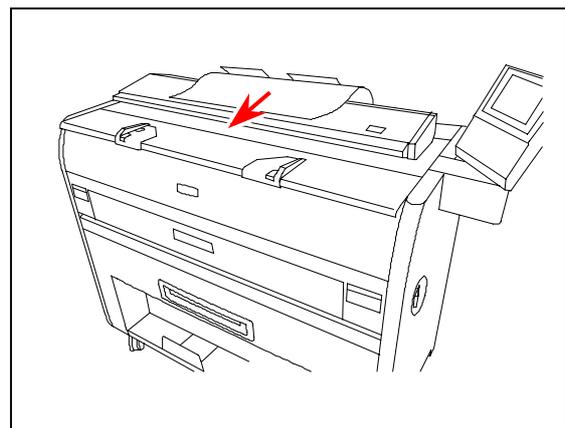
保存先を選択します。



5. **【スキャナー】** キーを押してください。スキャンモードの画面に戻ります。
6. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせてください。
原稿をセットします。読み込む面を上にして、スキャナーユニットの下に挿入してください。
自動的に原稿の読み込みを開始します。（キーを押す必要はありません）



7. 読み込んだ原稿は後側から排出されます。
（排出された原稿は排出ガイドにより手前に誘導されます。）



8. コンピュータでリモートウェブマネージャを起動し、Scanタブを選択してください。

The screenshot shows the 'Remote Web Manager' interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: Spooler, Device, WebClient, Filter, Option, Log, User, System, and Scan. The 'Scan' tab is circled in red. Below the navigation bar is a table with columns: 文書名 (Document Name), ステータス (Status), ユーザー (User), 機種名 (Device Name), ページ (Page), サイズ (Size), and 受付日時 (Received Date). The table is divided into sections: '印刷済' (Printed), '印刷準備中' (Preparing for printing), '一時停止' (Paused), and 'エラー' (Error). At the bottom, there is a status bar showing '0.1% 使用中' (0.1% in use) and the date '2006/10/30 15:04'.



The screenshot shows the 'Remote Web Manager' interface with the 'Scan' tab selected. The 'Scan to FTP設定' (Scan to FTP Settings) window is open. It has a left sidebar with '保存先 1' through '保存先 6' (Save destinations 1-6). The main area is titled 'スキャンフォルダ名:' (Scan folder name) and contains a table with columns: 文書名 (Document Name), ページ (Page), サイズ (Size), and 受付日時 (Received Date). At the bottom right, there are buttons for '削除' (Delete) and 'ダウンロード' (Download).

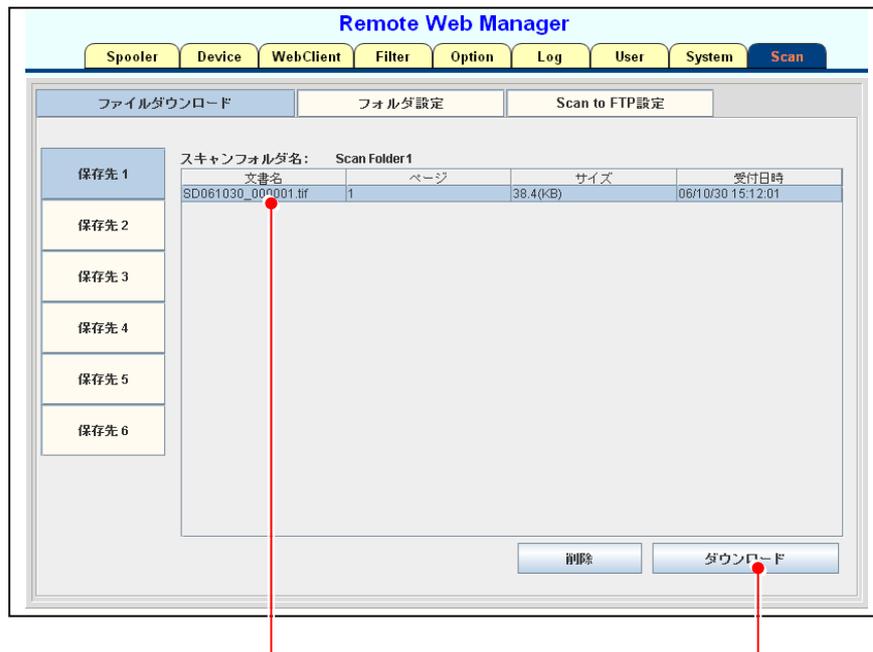
9. 本体の操作パネルで選択した保存先をクリックしてください。
パスワードを入力してください。（初期値は「0000」です）



保存先をクリックします。

パスワードを入力します。

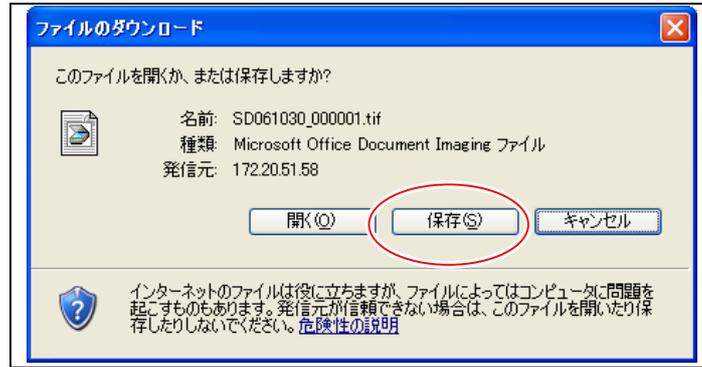
10. 本体で読み込んだ画像データのファイル一覧が表示されます。
保存する画像ファイルを選択して、ダウンロードボタンをクリックしてください。



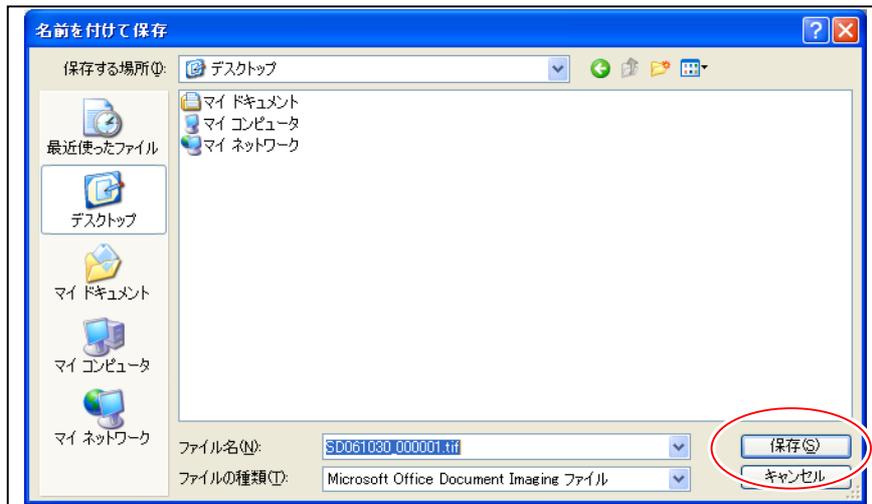
画像ファイルを選択します。

ダウンロードボタンをクリックします。

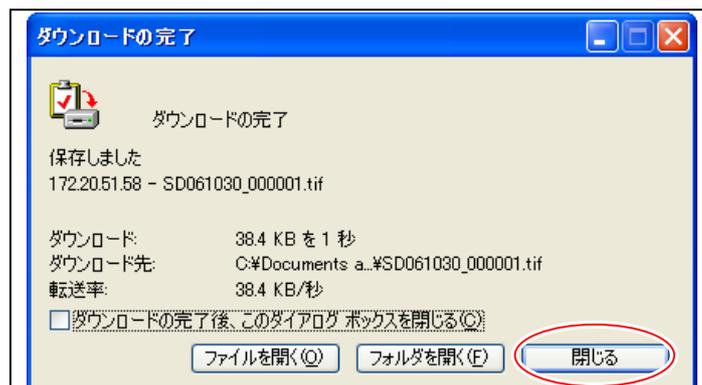
11. 画面のメッセージに従って、**保存ボタン**をクリックしてください。



12. 保存先のフォルダを選択して、**保存ボタン**をクリックしてください。

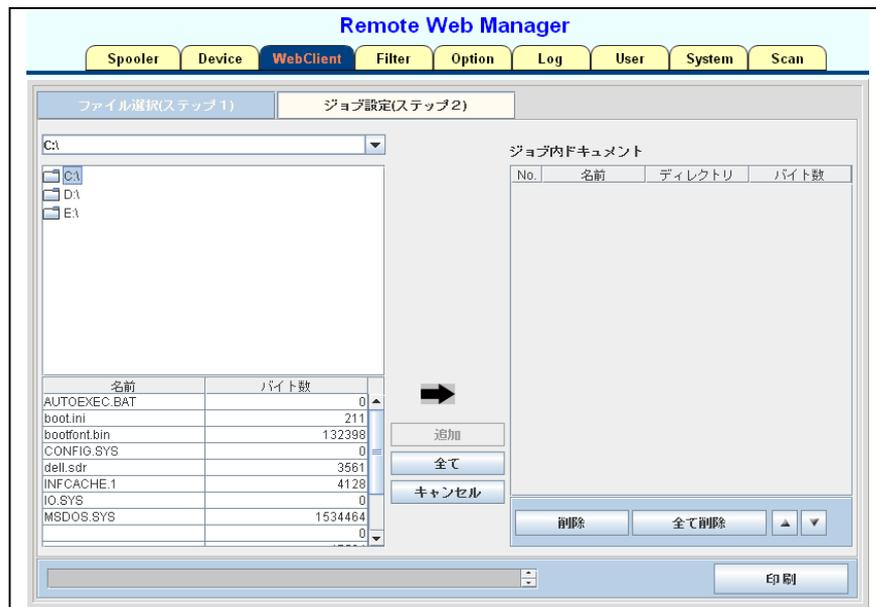


13. 画像ファイルのダウンロードが終了すると、次の画面が表示されます。
閉じるボタンをクリックしてください。



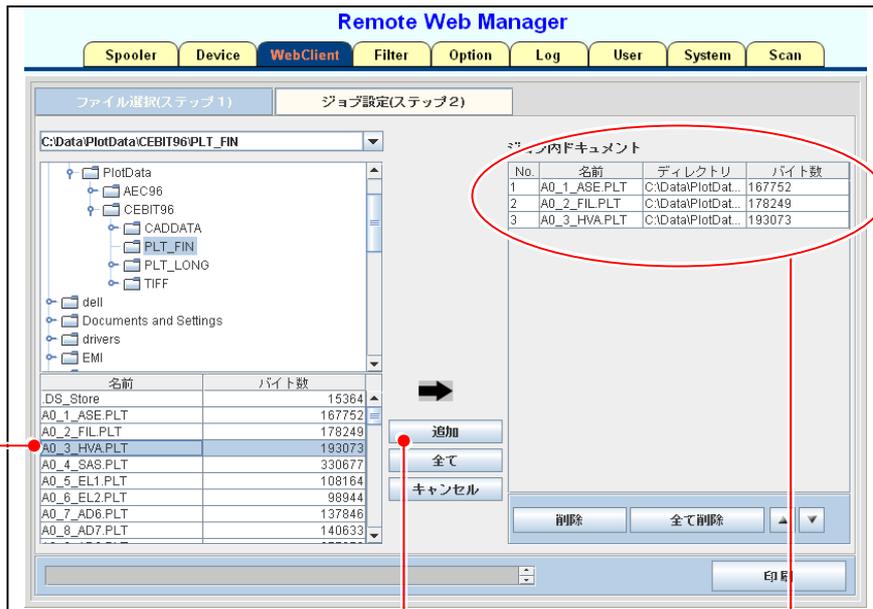
印刷する

1. コンピュータでリモートウェブマネージャを起動し、WebClient タブを選択してください。



2. プリントジョブを作成します。

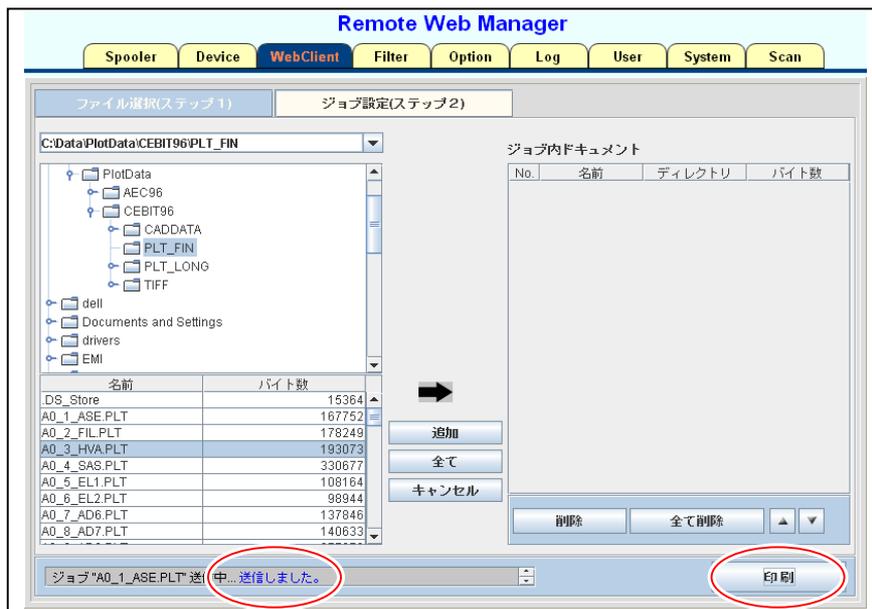
(画面の左側で印刷するファイルを選択し、追加ボタンをクリックしてください。プリントジョブが画面の右側に追加されます)



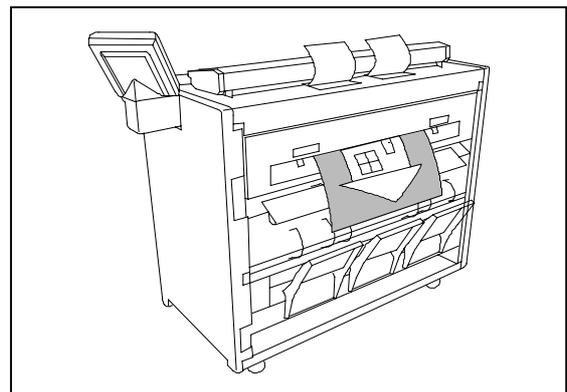
印刷するファイルを選択します。 追加ボタンをクリックします。 プリントジョブ

3. 印刷ボタンをクリックしてください。本体にプリントジョブが送信されます。

送信が成功した場合は、画面の下側に送信しましたが表示されます。



4. 印刷は本体後側から排出されます。



製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式は次の3つの方式があります。

セット方式

弊社指定のコピーセットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、製品の点検・調整・修理及び感光体の提供・交換を行ないます。

チャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様のご要請のつど料金を申し受ける方式です。

詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

契約書について

保守契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」（セット方式の場合）もしくは「コピーチャージ契約書」（チャージ方式の場合）を、ご購入の際お買い上げの販売店または弊社ブランチが必要事項を記入し、お渡しいたします。

契約書には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、契約書の発行がなされていない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社ブランチへご連絡ください。ただちに発行手続きを致します。

参考：アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店もしくは、最寄りの弊社ブランチへお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

トナーコンテナの廃棄

使用后、不要になりましたトナーコンテナは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。